

今、地球の気候が 危機的状況です。

地球温暖化の影響と考えられる災害が世界各地で頻発しています。長野県も例外ではなく、年平均気温がこの100年間で約1~2度上昇し、豪雨の頻度も増えています。この気候変動に対し、私たちは、何ができるのでしょうか。

温暖化の影響と私たちができること

地球温暖化は、石油・石炭などの化石燃料を燃焼することで排出される二酸化炭素（CO₂）が原因であると考えられています。地球を温めた太陽の熱は、最終的に宇宙へ逃げますが、温室効果ガスのCO₂は、この熱が地球外に逃げるのを妨げる働きがあります。CO₂が大気中に増え過ぎたことで、温室効果が高まり、地上付近の温度が上がっているのです。

その影響で、長野市の場合は、気温35度以上の猛暑日が増加傾向。もし、何も対策をしなければ、今世紀末までに年平均気温が更に4~5度上昇すると言われています。私たちの暮らしだけでなく、県内の農業や雪不足による観光業への影響も心配です。

このような状況に対し、今からCO₂排出量を減らし、気候変動による影響を抑えていくことが重要です。個人としては省エネ。電球をLEDにする、買い替え時に消費電力が少ない冷蔵庫を選ぶなど、無理なく生活を変えずにできることを、個々が積み上げることが大切です。同時に、太陽光などの再生可能エネルギーへの転換、CO₂排出量が少ないまちづくり（右上図）など、社会の仕組み自体を変えていくことも必要です。

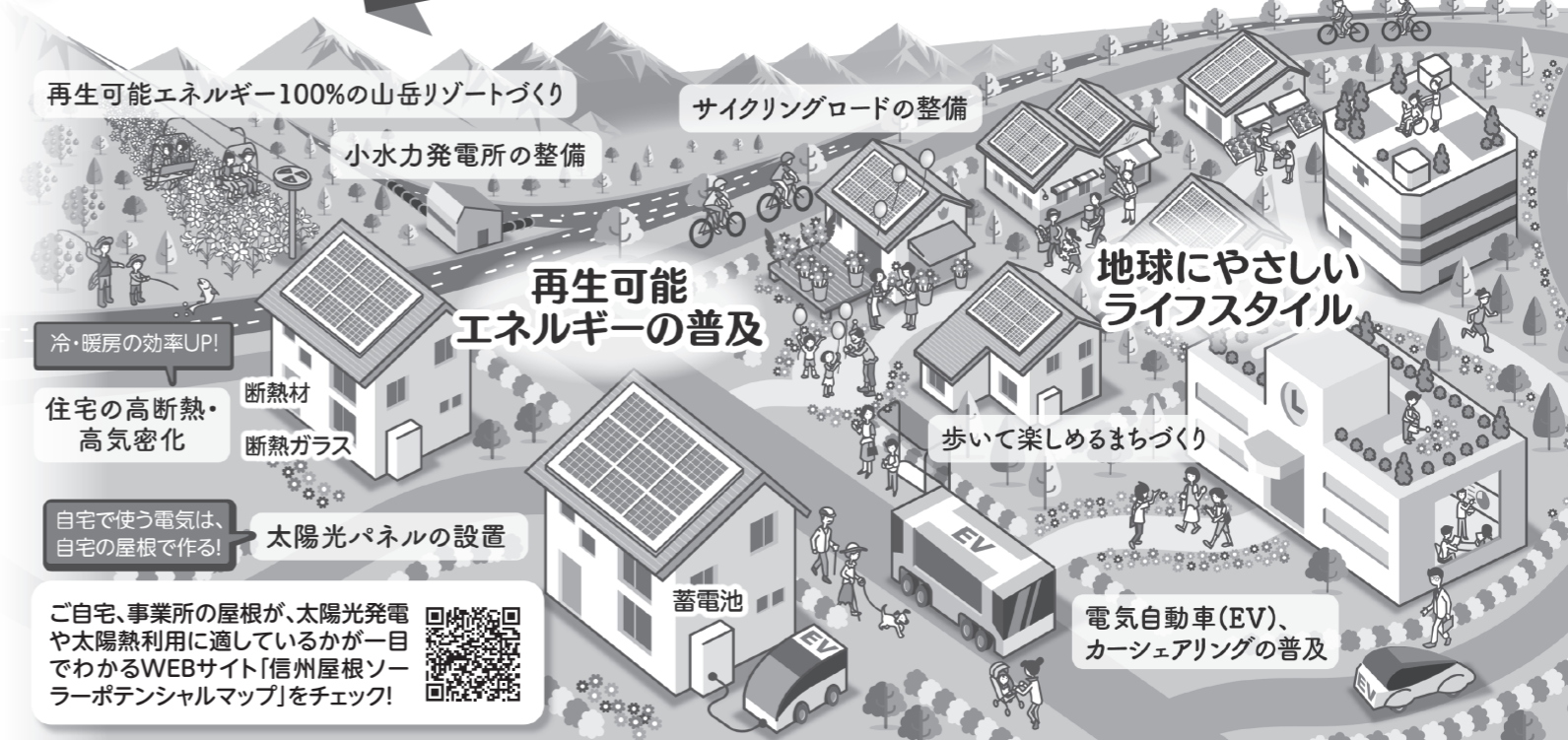
県環境保全研究所
浜田 崇 主任研究員



2050年に二酸化炭素の排出量を実質ゼロへ！

長野県気候危機突破方針で
目指す信州の姿

県は、地球温暖化の原因と考えられている二酸化炭素の排出量を2050年に実質ゼロにすることを宣言しています。未来を生きる世代へ美しく豊かな自然環境を引き継ぐために、「長野県気候危機突破方針」を策定し、さまざまな取り組みを始めています。



「気候非常事態宣言 -2050ゼロカーボンへの決意-」 「長野県気候危機突破方針」

詳しくはこちら <https://www.pref.nagano.lg.jp/ontai/climateemergency.html>

●お問い合わせは 長野県環境部環境政策課まで TEL 026-235-7169



簡単なことからいい。 行動してみよう。

白馬高等学校3年

写真左から
金子菜緒さん、手塚慧介さん、宮坂雛乃さん

Instagramアカウント:
hakuba0920

昨年9月、3人の高校生が、白馬村に「気候非常事態宣言」を行うことを求める、「グローバル気候マーチin白馬」を企画。子どもから大人まで約120人が参加し、村はこれを受け、県内初となる同宣言を行いました。その後も、チャリティーバザー、スキー場でのマーチ、SNSでの情報発信など、気候変動問題を一人でも多くの人に知ってもらうために活動しています。現在は、学校の教室を断熱化するプロジェクトを開始。「冬は暖房

をたくさん使うが、それでも寒い。断熱化することで環境負荷も光熱費も下がり、学習環境も良くなる。」
新たな活動を次々と進める3人ですが、肩肘を張らず、とても自然体です。
「同世代の関心が低いのが課題。自分達も活動を始める前はそうだった。自分達の発信が、興味を持つきっかけになれば。」
「少しでも環境や気候変動に興味を持ったら、まずは簡単なことでもいいから行動してみたい!」

